

FORZA 駒澤選手紹介 PART4

赤嶺真吾 (FW・4年)

今回の選手紹介はエースストライカー赤嶺真吾選手の登場です。ゴール前での気迫あふれるプレーと違って性格は温厚そのものの赤嶺選手ですが、沖縄という土地柄も影響しているようです。沖縄・九州・関東をまたにかけてサッカー人生を盛りだくさんで語っていただきました。

沖縄が育てたサッカー ―感そして人間性

小学校の時にいとこの影響でサッカーを始めました。3つの小学校が集まってできたチームに入って、そこで小6の時に九州大会優勝です。最後だったので思い出には残っています。FWはたまにやっています、主にMFでした。監督は友達のお父さんです。はじめは野球をやろうとしていたくらいで、そこまでサッカーに興味は持っていませんでした。沖縄ですし、海でよく遊んでいました。釣りとかも行ききました。習い事として習字とスイミングスクールに通っていました。小学校は近所の友達と遊んでばかりです。

中学校のサッカー部では中3の時の最後の大会で沖縄県優勝を果たしました。沖縄・九州では有名な中学校でした。小学校からの持ち上がりみたいなもので、仲間と楽しくサッカーをやっていた感じでした。ポジションは右のMFやったり、左やったり、ボランチやったりです。練習はチームが持ち上がった感じなのであまり小学校と変わらないです。監督は中学校の先生でしたけど、コーチも小学校と同じです。サッカーを楽しむ感じです。監督も楽しくやろうみたいな感じ（笑）。それでも強かったのはやっぱりチームワークです。みんな仲も良かったし。チームの中で特に引



つ張るタイプでも盛り上げる感じでもなく、ただ黙々とやっていました。中学校では陸上と駅伝もやっていた。部活ではないのですが、その時期になると借り出される感じでした。長距離は結構得意です。持久力4です。最後は国見に負けました。この頃はおとなしくは自信がありません。この頃は家のお父さんを割ったり悪がきです。家のガラスを割ったり。悪がきで逃げたりという悪さをしまし（笑）。サッカーをする上で沖縄の環境は九州で試合するにも飛行機乗ったりしなきゃいけないし、練習試合もできない。そういう面では、レベルが落ちるっていうのもあるかもしれないけど、そこはなんとかチームワークで乗り切りました。結果優勝できたので。そういうハンデがあっても嬉しかったです。沖縄の自慢は練習が終わって海に行けることです。ストレスはたまらないです。こっちは人が多いし、電車もいやです。沖縄は電車もないし、自分の時間を持てました。こっちは人より沖縄の人はゆとりがあります。サッカーとかで負けても、友達と遊んで気持ちに切り替えていました。

FWになって点を取りたくて……

1つ上の先輩で鹿美に行った人がいて、その人に誘われて鹿美に行こうと思ったんですけど、ただ先輩は1年終わってサッカー部辞めたので入れ違いました。試合に出始めて、インターハイは鹿児島で優勝して。選手権はベスト4です。最後は国見に負けました。点を決めたことです。国立には親が応援に来てくれることになっていたので、嬉しかったです。高校はF.W.じゃなかったけど点が取れたので（笑）。点をとって勝利に貢献したかったので。練習は1年生の時は1日10kmとか普通に走っていました。中学校での駅伝が役に立ちました。でもそうとうきつかったです。1年の頃はしゅっちゅ辞めたいと思いました。沖縄には長期の休みがないと帰れないし、2年生になってボール使うのが多くなると、あの上の人とかとも紅白戦やりました。先輩から学んだことは上下関係とか、学校自体の礼儀が厳しかったのですが、まあ、先輩は厳しかったですね（笑）。総合学科のクラスで午後からはすぐに部活なんです。食欲があって、休み時間は何か食べていたね。授業は寝るかボーっとしているかです。サッカーだけの生活でした。高校の時は下宿から学校までが遠くて、16

の信頼を勝ち得たい プレーで貢献して皆

大学は関東に行きたくて、ちょうど駒大から話があったので推薦を受けました。沖縄出て、九州はいろいろ回ったので、あとは関東かなと（笑）。1年生の時は深井さん（現・鹿島）巻さん（現・市原）がいまして、それを越えたいと試合に出るしやらにやっていたら何試合かは出られました。良い経験になったと思います。思い出になっているのが初ゴールになった前期リーグの国士館戦です。練習は鹿美で鍛えられたっていうのがありましたし、走りとかもついていきました。3年生はリーグで悔しい思いをしましたが大臣杯・インカレは点を取って勝利に貢献できたと思います。監督は自分の考えをチームの皆に伝えてくれるんですが、自分たちが1年生の頃からやることは変わっていないです。厳しいですが、熱い監督だと思っています。副キャプテンをするようになってからは特に何も変わってないです（笑）。試合にも出ていることだしプレーで貢献して、試合に勝つことが皆の信頼を勝ち得ることだと思っています。勝負へのこだわりは去年より強くなったと思います。

ゴール前に早くっていった駒澤の特徴はFWであることが生かされまですし、ゴール前での勝負ってのが大学に入った一番学んだことだと思います。自分たちの代というところもありませんし、最後には結果がついてくるように精一杯頑張りたいです。

●あかみね しんご／1983年12月8日生まれ178cm、73kg。高良小→小緑中→鹿児島実業高。好きな選手は中山雅史（ジュビロ磐田）。好きな言葉は命宝（沖縄の言葉）。得意なプレーはゴール前で飛び込むこと。趣味は掃除。

～お知らせ～
FORZA駒澤BOXを駒澤大学駒澤校舎内の食堂にあるアイスクリーム売り場、学生部に設置しました。毎週金曜日に置いておくので、ご自由にお持ちください。

FORZA駒澤は毎週金曜日に発行！お便り、感想などはこちらまで
〒154-8525 東京都世田谷区駒澤1-23-1
駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」Eメール
forzakomazawa@hotmail.com
TEL/FAX 03 (3418) 9556 発行人 山本麻紗子

桑原 靖から見た
赤嶺真吾
ちょっと抜けて、天然。でも頼れるし、試合と一緒にいたら点を取ってくれそうな選手です。

次節はひたちなかで中央大と対戦！
<場所>ひたちなか市 総合運動公園陸上競技場
<日程>5月21日(土) 14:40
●JR 常磐線「勝田」よりタクシーで15分。